

# 制裁者リスト照合にBabel Streetを採用 AML/CFTの有効性向上で地域金融機関を支援

産業：金融

ソリューション：Babel Street Match

## 多言語対応

金融取引の国際化に伴い、照合の困難さが増す中、20言語以上の多言語対応が大きな役割を果たしています。

## 機能強化

日本市場ならではのニーズへのスピーディな対応が顧客からの信頼の維持・向上に貢献しています。

## 扱いやすさ

一致度のスコアリングによりアウトプットをチューニングすることで、業務へのスムーズな導入を実現。

株式会社野村総合研究所が金融機関のAML/CFTサポートを目的とした新サービス「GPLEX」開発にあたり、大きな課題になったのは、国際化する金融取引への対応でした。アルファベット圏や日本語はもちろんのこと、中国語、韓国語、ロシア語など、20を超える言語に対応し、AIが照合を行うBabel Street Matchは、こうした課題の解決に大きな役割を果たしています。

## 導入前の課題

金融犯罪等の脅威の高まりもあり、金融機関にとって、マネー・ロンダリングおよびテロ資金供与対策(以下AML/CFT)は強化すべき課題の一つになっています。その一方で、国内のAML/CFTへの取り組みは課題も少なくありません。金融機関向けのAML/CFTサービスを2017年から提供してきた野村総合研究所(以下NRI)金融GRCSソリューション事業部 チーフストラテジストの高田 貴生氏はその現状をこう説明します。

「その一つが、米国AML Act 2020のようなマネー・ロンダリング規制法が存在しない現状です。AIを活用し日々高度化する金融犯罪の手口に関連法案やガイドラインを駆使して対応せざるを得ない状況にある弁護士の方は、『スピード違反したドライバーを交通ルールに則って追跡しているようなもの』と表現してまさにその通りだと思います。またAML/CFTの取り組みはコストセンターにならざるを得ないことも対応の難しさの一つです。特にリソースに制約がある地域金融機関の場合、どうしても対応が後手になってしまうことが否めません」

証券会社向けの「THE STAR」や、投資信託の窓販業務ソリューションである「BESTWAY」などの金融機関バックオフィス向けASPサービスを早くから提供してきたNRIがAML/CFTを支援する新サービス提供に取り組んだ背景には、こ



左から八木下 暢氏、川内 秀彦氏、高田 貴生氏

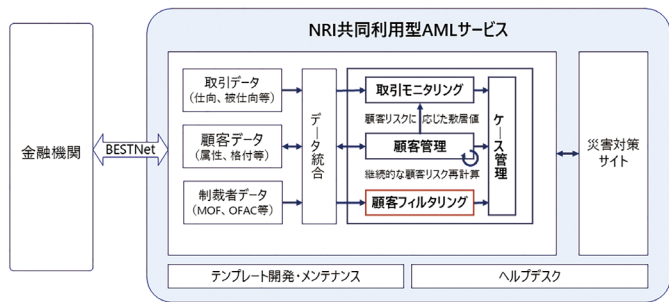
うした事情がありました。しかしサービス提供に至る道筋は決してスムーズなものではありませんでした。

「当初アメリカで普及するAML/CFTサービスの導入を想定していたのですが、グローバルなサービスと国内金融機関のニーズとのギャップは小さくありませんでした。足下の課題でもある特殊詐欺への対応はその分かりやすい例です。口座間の資金移動で資金洗浄するという手口自体は似ていますが、取引金額も含め、その動き方が異なるため、既存のAML/CFTサービスでは対応が困難なのです。もちろん詐欺対策に特化したツールも存在しましたが、今度は逆にAML/CFTへの対応という観点では課題が少なくありませんでした。AML/CFTサービスの独自開発を決断した背景には、こうした事情があります」(高田氏)

## 選択のポイント

NRIが提供するAML/CFTサービス「GPLEX」は、金融機関から提供される取引データ、顧客データ、制裁者データに基づき、以下の3つの観点から取引を実施しようとしている方が本人であることや取引そのものの正当性の検証を行います。

一つは取引の流れを追い、不自然な取引を抽出する取引モニタリング。次が属性や取引実績などを通して各顧客のリスクを検証する顧客管理。最後が、国内外の



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

当局が提供する制裁者データと顧客名を突き合わせする顧客フィルタリングです。取引モニタリングと顧客管理は NRI 独自でシステム開発を行っていますが、問題は顧客フィルタリングでした。サービス開発を主導した金融 GRCS ソリューション事業部 部長の川内 秀彦氏はこう振り返ります。

「疑わしい顧客を顧客名と制裁者リストとの完全一致や部分一致といったルールベースで抽出することは、コーディングでも対応できます。しかしそのやり方では、例えば漢字やかなの姓名をアルファベットに変換した際の表記の揺らぎや曖昧さに対応することは困難です。金融犯罪の手口が高度化する中、この課題に確実に対応していくには、自然言語処理に対応する AI などのテクノロジーを導入する必要があると強く感じました」

同社が Babel Street のソリューションを発見したのは偶然に近かったといえます。その時の状況を高田氏はこう振り返ります。

「コロナ禍でお客様との面会が難しくなった時期に、この機会に世界中のプロダクトやソリューションをチェックしておこうと毎日各社の Web セミナーをチェックしていましたが、Babel Street Match (以下、Match) の存在もそのときに知りましたが、まず注目したのが制裁者リストと顧客氏名が違う言語で表記されていても高精度で抽出できるという特長でした。最初は半信半疑でしたが、実際にデモを拝見し、当時検証を行っていたグローバルベンダーの同業製品と比較しても明らかに優れていたことから即座に導入を決断しました」

自社サービスへの組み込みに先立ち、まず実施されたのが PoC (概念実証) でした。Babel Street のエンジニアの協力もあり、作業はスムーズに進んだといえます。

## 導入効果

NRI のデータセンターに構築された GPLEX のサービス提供が開始されたのは 2023 年 12 月。NRI と AML/CFT に関する合弁会社を設立した、TSUBASA アライアンス参加行の一部や大手行ですでに運用がスタートしています。サービス提供を金融犯罪対策ソリューショングループ担当部長の八木下 暢氏はこう振り返ります。

振り返ります。

「同様のサービスは、今回 GPLEX を導入した金融機関の多くがすでに導入していました。既存のサービスと比較してまず驚くのが、今まで網に掛からなかった疑わしい顧客の多さです。とはいえ、少しでも疑わしい顧客のすべてに対応し、調査や報告を行うのは現実的ではありません。分析結果をリスクに応じてスコアリングする機能を利用し、出力のチューニングを行うことで、各行の考え方に応じた運用が行える点も Match のメリットの一つと考えています」

さらに実運用におけるサポートも NRI が高く評価するポイントの一つです。

「私たちの強みは、ユーザーが直面する課題に機動力を持って総合的に対応できる点にあると自負していますが、ベンダーの対応が遅れるとそれがボトルネックになってしまいます。それだけに、私たちの要望に対する Babel Street さんの柔軟で素早い対応にはとても感謝しています」(高田氏)

NRI が要望した同音異字や和暦、日本の住所表記ルールへの対応などは、次回バージョンアップの際に即座に対応が行われました。サービス開始後も続く、国内金融機関の使いやすさの追求もあり、GPLEX の顧客フィルタリングへのユーザー評価は極めて高く、その機能だけを提供して欲しいという声もすでに現れはじめています。

## 今後の展望

リソースに制約がある地域金融機関の AML/CFT 支援を実現した GPLEX の次のステップとして NRI が考えるのは海外金融機関への展開です。

「冒頭でも触れた通り、AML/CFT と詐欺対策の間には大きな空白領域が残っています。今後は、アルファベット圏を中心とした GPLEX の世界展開も積極的に図っていきたく考えています。その際には、これまで以上の Babel Street のサポートを期待したいですね」と高田氏は言います。

NRI は GPLEX による健全な金融取引の徹底化を通し、人々が安心して暮らせる社会の実現を目指しています。その取り組みにおいて、今後も Match が大きな役割を果たし続けることが期待されています。

株式会社野村総合研究所  
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ  
創業：1965 年 4 月 1 日  
従業員数：7,206 人 (NRI グループ 16,708 人) 2024 年 3 月 31 日現在  
事業内容：コンサルティング、金融 IT ソリューション、産業 IT ソリューション、IT 基盤サービス

Babel Street は、世界で最も高度なアイデンティティ・インテリジェンスとリスク管理を可能にする、信頼、実績のあるテクノロジーパートナーです。Babel Street Insights プラットフォームは、リスクと信頼のギャップを埋める高度な AI およびデータ分析ソリューションを提供します。

Babel Street は、言語を問わず他に類を見ない分析対応データ、能動的なリスク識別、360 度のインサイト、高速自動化、既存システムへのシームレスな統合を提供します。当社は、政府機関や企業組織が、重要なアイデンティティおよびリスク管理を戦略的な優位性に変換できるように支援します。

詳細については、[babelstreet.jp](https://babelstreet.jp) をご覧ください。